

第87回 てがつかふ 「結婚の定義」3
「制度外の結婚？」

- 〔言葉の定義〕
- ① 結婚：民法上の結婚
 - ② 制度外の結婚：民法上認められていない結婚
 - ③ <結婚>：①②を含む広義の結婚

〔注意点〕
制度外の結婚をどうすれば制度化できるのかといった政治的・政策的な議論は今回しません

- 〔対話の流れ〕
1. 自由対話
 2. キーワード抽出
 3. キーワードを深める
 4. 問いを作る
 5. 問いに対する答え(定義)

制度外 *チラン以外
近親婚
未成年
異類婚 ← 2次元キャラ、エヴァ、動物等
相互関係？

→ 何を求めていた？
→ 好んで選んだ
→ 選ばざるをえなかった



外 ほとんど理念があつたはず、使いなしてない
本来は道具のように使いなしてない
ex. 短歌 → 定型(外)以外(制度)外
考える 広げる

トポ → 結婚してないから子供生まれなかった
子供 → 制度外
いろいろなつながりの形、

がわい(イベント)ではなく結婚
ファン
(まわりから見ると結婚に見える)結婚ではない
社会に認めてもらいたい
本人たち
枠格形式

制度 → 社会が継続するための結婚・子供を育てる
ある程度せま(範囲)で安定してまわす必要
宗教
→ 逆に認めないといけない流れ

絶対ダメな結婚
(例) 生まれたての子供をさらって結婚
家と家
取り込む
そのまま認める

→ 定型あつての非定型
自由 → どこまで認めるか？
認めた方が社会がよくなるのでは

○結婚する時社会のことを考えていた？
→ 目的ではなかった
→ 1人だとやれること(限界)
→ 結果的によかった
→ 家族のことは考えた

→ レールを作っておくことで考えずに乗れる
制度 → 大多数になじむ枠組
楽ちん → 考えなくても機能する
なじまない人がもれてしまう
日本は寛容

- 個人的な動機
- 社会性
- 制度設計
-

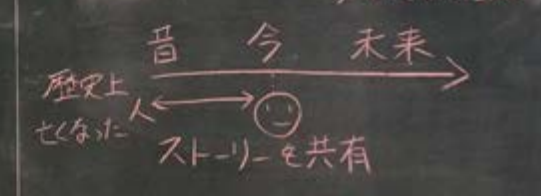
《キーワード》

- 社会 (社会があるから制度がある)
- 一方的 (生物/無生物 意志)
- 大多数になじむ枠組
- 限界 (生まれた時から引き受けているもの、性差、ほろこい)
- 自由
- 道具
- 考えない楽ちんさ
- 範囲
- 理念
- 目的
- 拡大
- 複雑
- そのまま認める
- 認めてもらいたい
- 多様性
- 気持ち
- 時間 (昔・今・未来)

なぜ結婚というとなる？
(どうして今、昔はならなかった？)
何を求めている？
社会にそのまま呈示？
対人関係も実は一方的同士のつながり？



所有権 - 動物
みんなの (キャラ、エヴァ、塔)
↓
自分の中の○○と結婚
概念と結婚 → 両方ない？
→ せくな人



《問い》 制度外の結婚とは

- ・ 制度としての結婚を考える重要な問いであるか
- ・ 認められない結婚なのか、そもそも結婚ではないのか
- ・ 自分の子供に看みられるか
- ・ なぜ人は「結婚」を欲するのか
- ・ なぜ「結婚」ということばにこんなにも悩まされたいいけないのか
- ・ 社会が愛に限界をつくるのだろうか